

# はままつWell-Beingアワード2024 応募申込書

## 【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

2024年7月18日

企業又は団体名：浜松いわた信用金庫

- ・地域幸福度（Well-Being）指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を可視化する指標として、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（以下 SCI-Japan）が作成・開発した LiveableWell-Being City 指標® の別称です。
- ・LiveableWell Being City 指標を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、SCI-Japanに帰属しています。

# 応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
1	取組やサービスの名称	(事業・プロジェクト単位を基本として記載) 金融教育（お金のはなし・ビジネスマナー講座）エシカル消費
2	取組やサービスの対象・ターゲット	(例) 子育て中の親 浜松市内の学生（幼稚園・小中学校・高校・大学）と一般（新入社員）
3	取組やサービスの内容	(活動年数、頻度、対象地域、対象人数等を使ってできるだけ具体的に記載) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年から当金庫の地域貢献活動の一環として開始された金融教育で当初はお金の話、信用金庫とは？という内容が中心であった。しかし、近年日常生活を含めた基礎的なマナーの重要性が問われるようになってきたため、普段から接客・ご相談業務を主とする地域の金融機関職員が自分自身の知識・経験を活かしお金だけでなく基本的なビジネスマナーを伝える講座を開始した。</li> <li>・小中高の学生、一般向けのお金のはなし・ビジネスマナー講座は1学期2学期が中心で年間100講座開催し、エシカル消費の講座は年間17講座ほど開催している。</li> <li>・浜松市を中心とする当金庫営業エリアである静岡県西部を対象としている。</li> <li>・2023年度開催の受講者は合計7,398名。（お金のはなし・ビジネスマナー講座は6,613名エシカル消費は785名。）</li> </ul> 開始時より累計は1,143講座、76,290名。

# 応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
4	対象・ターゲットの幸福感向上のストーリー	<p>(取組やサービスにより対象・ターゲットの幸福感がどのように向上するか、仮説を立てて記載)</p> <p>※末尾にある様式「幸福感向上のロジックツリー」を作成し、幸福感向上の仮説を補足してください。</p> <p>人間の金銭管理能力やマナーに対する意識は大人になったら自然に身につくものではなく、小さい頃からの積み重ねが重要となる。学校外・社外の外部講師から話を聞くことで新しい発見をし自分自身の今までの振り返りとこれからの理想像を思い描くことができるきっかけとなる。また、地元の金融機関の職員が講師となっているということで地元の企業への興味・関心を持ち将来地元で就職をするきっかけとなる。</p>
5	地域への波及効果	<p>(対象・ターゲットの幸福感向上により、地域全体の幸福感へどのように波及していくか記載)</p> <p>子供達の金銭管理能力が将来大人になるまでに養われることで地元地域の経済効果への影響力が期待されるとともに、地元企業に将来勤めた際、子供のころから身に付けたビジネスマナーによって企業の価値も向上させることが期待できる。</p>

# 応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
6	取組やサービスの効果測定的设计	<p>(取組やサービスの効果測定の方法を記載)            ※実際に取組やサービスの効果測定を実施していない場合でも、今後の方針や構想を記載してください。</p> <p>2024年4月25日現在浜松市の中学校の学校数は49校、生徒数が19,847人である。現在ご依頼をいただき学校で講座を開催しているが開催の際は実施後に講座内容についてのアンケート調査を実施している。将来的には浜松市内すべての中学校での開催を実現させ、将来の浜松市の経済効果に結び付けたい。</p>
7	取組やサービスのPDCAサイクル的设计	<p>(取組やサービスの効果的なPDCAサイクルを回していくための方針を記載)            ※実際に取組やサービスのPDCAサイクルが未整備であっても、今後の方針や構想を記載してください。</p> <p>金融教育は平成19年から継続的に実施しており当金庫としてのスキームはすでに完成されている。現在は学校の教育課程やビジネスマナーの変化に合わせてアップデートを行っており、特にビジネスマナーは世間がオフィスカジュアルに移行しつつある点を講座内容に取り込むようにしている。講座を実施する際は事前に学校サイドからの要望を確認し、要望に沿った内容（あくまで一般常識を基準）にして実施している。また、講座の実施後はアンケートをいただくことで講座のさらなるブラッシュアップも図っている。平成から始まった取り組みではあるが、平成から令和へと内容も時代とともに変化させるよう工夫している。</p>

# 応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
8	取組やサービスを紹介したホームページやSNS等（任意）	（ホームページのURL等を記載） <a href="https://hamamatsu-iwata.jp">https://hamamatsu-iwata.jp</a>
9	取組やサービスの写真等（任意）	<div data-bbox="479 376 1193 829"> </div> <div data-bbox="1193 376 1885 829"> <p>浜松市立蛸塚中学校</p> </div> <div data-bbox="494 896 1193 1358"> <p>浜松市立赤佐小学校</p> </div> <div data-bbox="1199 901 1885 1353"> <p>浜松教育委員会初任者研修</p> </div>

# 応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

## <幸福感向上のロジックツリー>

**ターゲット：浜松市内の学生**

地域 ←→ 個人／家庭

Well-Being  
(幸福感)

地域住民のWell-being

浜松市内の学生のWell-being

心の因子※

私は同じ町内に住む人  
たちを信頼している

若者が活躍しやすい

やりたい仕事を見つけ  
やすい

行動の因子

コミュニケーション  
能力

企業が求める人材

金銭管理能力

環境の因子

職場体験

地元の金融機関職  
員との接点

取組／サービス

金融教育（お金のはなし・ビジネスマナー講座）

※出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」